

平成30年度 公益財団法人とやま国際センター事業報告

I 国際化促進事業

(計画額 178,456千円 実績額 163,474千円)

1 国際交流事業

(計画額 3,442千円 実績額 1,783千円)

(1) 草の根国際活動助成

民間レベルの国際交流、国際協力及び多文化共生活動を奨励するため、国際交流団体等の自主的な活動に対し助成を行った。(単位:千円)

団体名	事業名	助成金額
富山県日中友好協会	日中平和友好条約締結40周年記念「とやま日中友好の集い」	100
富山ルーマニア友好協会	モルドバ共和国写真・絵画展	100
富山青年会議所	みんなで作ろう 世界につながる架け橋 in 金屋幻の滝	100
高岡ポルトガル語講師会	おとぎの森日系人児童・生徒学習支援教室	200

(2) とやま国際草の根交流賞

国際交流や国際協力活動を草の根レベルで実践している個人、団体を顕彰し、県民の国際交流・協力の意識の啓発、向上を図った。

時期: 11月7日(水)

会場: 富山県庁 4階 大会議室

表彰者

- 個人5 大蔵 外喜雄 (NPO 富山県日中友好協会)
高岸 睦夫 (富山市民国際交流協会)
寺本 一郎 (富山県日韓親善協会)
森田 慶次 (NPO 山海塾)
吉田 充恵 (とやまこども芸術活動支援協議会)
- 団体1 富山日伯交流友の会



(3) 国際交流フェスティバル

国際交流や国際協力などに取組む県内の団体の日頃の活動等を紹介するとともに、県民が異文化に触れ合う機会を提供した。

時期: 11月11日(日)

会場: 富山駅自由通路、CICビル内

参加者数: 延べ約6,000名(29団体)

主催: 国際交流フェスティバル2018実行委員会

2 国際協力事業

(計画額 96,807千円 実績額 88,886千円)

(1) 海外研修員等の受入

ア 海外技術研修員

開発途上国等に対する技術協力の一環として、富山県が受け入れる海外技術研修員の滞在中の日常生活等を支援した。

国名	人数	受入期間	研修機関
ブラジル	1名	6カ月	革工房グレイン
ロシア	1名	6カ月	①(公財)環日本海環境協力センター ②富山県環境科学センター ③環境政策課 ④環境保全課
中国	2名	6カ月	富山県国際課
		6カ月	富山情報ビジネス専門学校
中国(短期)	1名	4カ月	(有)トヤマ・ヤポニカ

イ 多文化共生推進研修員

ブラジル人児童の学習支援のため、富山県が受け入れる多文化共生推進研修員の滞在中の日常生活等を支援した。

国名	人数	受入期間	研修機関
ブラジル	1名	6カ月	高岡市立野村小学校



(2) 外国人留学生への支援

ア 県費留学生の受入

富山県が県内の大学へ受け入れる留学生に対して滞在中の日常生活等を支援した。

区分	人数	受入期間	留学先
ロシア沿海地方留学生	1名	平成30年4月2日～31年2月19日	富山大学
中国遼寧省留学生	1名	平成30年4月1日～31年3月25日	〃
南米留学生	1名	平成30年4月2日～31年2月26日	〃
県立大学遼寧省留学生	1名	平成30年4月11日～31年2月28日	富山県立大学

イ 私費留学生への支援

(ア) 富山県国際交流奨学金の交付

県内の大学等に在籍する私費留学生のうち、成績が優秀で国際交流事業等へ参加の意思がある学生に対し奨学金を支給した。また、専門学校等で日本語を学ぶ学生に対し奨学金を支給した。

大学等在籍者	1年生	月額10千円支給	支給者数	18名
	2年生以上	月額50千円支給	支給者数	22名
日本語教育機関の学生		月額3千円支給	支給者数	234名

(イ) 国民健康保険の加入助成

私費留学生及び日本語教育機関の学生の国民健康保険加入促進のため助成金を交付した。

- ・助成額：年額12千円(本人負担分の約2/3)
- ・支給者数：私費留学生 202名
日本語教育機関学生 194名

(ウ) 留学生の住宅確保への支援

留学生が安定した居住環境で生活が営めるよう、住宅の賃貸借契約を行う際にとやま国際センターが連帯保証人となった。

引受件数 71件

ウ アセアン留学生の受入

県と県内企業が連携して実施する留学から就職までを一体とした留学生受入事業による第2期アセアン留学生4名の滞在2年目、第3期アセアン留学生5名の滞在1年目の日常生活等を支援した。

	出身国	受入企業	受入期間	留学先
第2期	タイ	株式会社小矢部精機	H29. 11. 28～令和2. 3. 31	富山大学大学院 理工学教育部
	フィリピン	川端鐵工株式会社	H29. 9. 26～令和2. 3. 31	富山大学大学院 理工学教育部
	インド	ダイト株式会社	H29. 9. 26～令和2. 3. 31	富山大学大学院 医学薬学教育部
	フィリピン	ファーマパック株式会社	H29. 9. 26～令和2. 3. 31	富山大学大学院 医学薬学教育部
第3期	ミャンマー	大高建設株式会社	H30. 9. 26～令和3. 3. 31	富山県立大学 工学部
	インドネシア	株式会社新日本コンサルタント	H30. 9. 26～令和3. 3. 31	富山県立大学 工学部
	タイ	タカノギケン株式会社	H30. 9. 26～令和3. 3. 31	富山大学大学院 工学部
	バトナム	北電情報システムサービス株式会社	H30. 11. 26～令和3. 3. 31	富山大学大学院 工学部
	バトナム	日東メディック株式会社	H30. 9. 26～令和3. 3. 31	富山大学大学院 薬学部

※受入企業の五十音順

エ 留学生交流拡大・魅力発信事業

外国人留学生が富山県の観光地等を訪れ、魅力に感じた見どころや富山での暮らしぶりについて、インターネット等により海外へ向けて発信する活動を支援した。

- 第1回バスツアー（立山） 外国人留学生 22名参加
- 第2回ガラス美術館 外国人留学生 18名参加

(3) NOWPAPへの協力

国際連合の機関であるNOWPAP（北西太平洋行動計画）地域調整部富山事務所の活動が円滑に運営されるよう支援した。

(4) 青年海外協力隊事業への支援

青年海外協力隊をはじめとするJICAボランティア事業の帰国報告会の開催を支援した。

- ・青年海外協力隊富山県OB会活動補助金 80千円



(5) 海外移住者及び関連団体への支援

- ・在外県人会活動費補助金(ブラジル、アルゼンチン、ペルー) 1,270千円
- ・南米協会活動費補助金 1,000千円
- ・海外移住家族会活動費補助金 4,528千円

3 多文化共生事業

(計画額 6,290千円 実績額 5,049千円)

(1) 外国人のための生活相談等の実施

ア 生活相談

県内で暮らしている外国人が日常生活に必要な情報や個人的な悩み等を母国語で相談できるよう外国人の生活相談員や国際交流員を配置し、面談又は電話で対応した。

(対応言語) 英語、中国語、韓国語、ロシア語、ポルトガル語、テルグ語
(相談実績件数)

内容 国籍	情報	保険	在留	教育	医療	福祉	税金	労働	婚姻	法律	住宅	交通事故	その他	合計
ブラジル	12	7	8	3	6	3	3	5	2	1	2	2	2	56
フィリピン		1						3						4
アメリカ		1											1	2
イギリス							1							1
中国									1					1
ペルー								1						1
モザンビーク	1													1
トゴ	1													1
日本(※)	1	1			2			2	1					7
合計	15	10	8	3	8	3	4	11	4	1	2	2	3	74

(※)「日本」は、外国人に関する相談

イ 電話通訳サポート

生活相談をリアルタイムで解決できるよう三者通話機（NTTトリオフォン）を活用し、具体的な照会先となる関係機関等と相談者の通訳サポートを行った。 利用件数：21件

(2) 外国人のための日本語学習支援ボランティアの育成・支援

ア 日本語ボランティア養成講座

外国人の日本語学習を支援するボランティア養成のための講座を開催した。

時 期：8月18日～10月6日（氷見市）、
8月25日～10月27日（滑川市）

回 数：各5回

会 場：氷見市いきいき元気館、氷見市中央公民館（氷見市）
滑川市民交流プラザ（滑川市）

受講者数：25名（内、氷見市7名、滑川市18名）

イ 日本語教室アドバイザーの派遣

地域日本語教室へ日本語教育専門アドバイザーを派遣し、安定的運営とスキルの向上を図った。

派遣実績：太閤山日本語グループ	12回	} 計46回
日本語教室 in 氷見	16回	
日本語教室 in 黒部	11回	
にほんご広場 in なんと	7回	

ウ 日本語ボランティアスキルアップ研修会

県内の各日本語教室のボランティア等のスキルアップや情報交換を目的とし、研修会を開催した。

(第1回)

時 期：6月16日（土）

会 場：環日本海交流会館

内 容：「富山における対話中心の日本語支援教室の紹介」

講師 日本語教室 in 黒部 代表 家城 香織氏

「生活密着型の日本語支援を目指して」

講師 聖心女子大学 准教授 岩田一成氏

受講者数：26名

(第2回)

時 期：11月18日（日）

会 場：環日本海交流会館

内 容：「文化言語の多様な子どものことばと心を育てるために」

講 師：同志社大学 日本語・日本文化教育センター 准教授 櫻井千穂氏

受講者数：41名



エ 日本語ボランティアの研修会等参加費用の支援

地域の日本語教室で活動している日本語ボランティアが、自己研鑽のため文化庁等が行う研修会に参加する場合にその参加費用の一部を助成した。

助成実績：1名

(3) 外国語の絵本よみきかせ親子の会の開催

外国語の絵本の読み聞かせを通して、外国籍の子どもには母国語や母国の文化に接する機会を提供し、日本人の親子に対しては海外の文化に出会う機会を提供した。

時 期：4月～3月（予定） 毎月第2土曜（7、8月は第1土曜、1、2月は第3土曜）

開催回数：12回（英語（9回）、ロシア語（1回）、ポルトガル語（1回）、中国語（1回））

会 場：環日本海交流会館

参加者数：延205名

(4) 外国人への防災情報提供

ア ラジオ番組「BOUSAI RADIO」による防災情報の提供

地震や台風など災害に関する防災情報をやさしい日本語、中国語、英語、ポルトガル語で提供するラジオ番組「BOUSAI RADIO」を放送した。

毎月第1・3土曜日 午後9時55分から5分間、FMとやまで放送

(5) 災害時の外国人支援のための防災訓練事業

ア 災害時外国人支援ボランティア研修（やさしい日本語コース）

災害時における「やさしい日本語」による情報提供等研修会を実施した。

時 期：7月7日（土）

会 場：氷見市いきいき元気館

講 師：トヤマ・ヤポニカ 要門美規 氏

参加者数：16名

イ 災害時外国人支援ボランティア研修（多言語翻訳コース）

災害時における「多言語」での通訳、翻訳による情報提供研修会を実施した。

時 期：7月14日（土）
会 場：氷見市いきいき元気館
講 師：富山県国際交流員
参加者数：11名



ウ 災害時外国人支援研修（自治体職員等担当者コース）

災害多言語支援センターや避難所の設置・運営の基礎研修と「やさしい日本語」研修を実施した。

時 期：7月26日（木）
会 場：とやま国際センター
講 師：（一財）ダイバーシティ研究所 代表理事 田村太郎 氏
トヤマ・ヤポニカ 要門美規 氏
参加者数：8名

エ 広域連携による防災研修（石川県、福井県と共同実施）

大規模災害時における石川県と連携した「災害時外国人支援ボランティア研修」を実施した。

時 期：7月29日（土）
会 場：富山県広域消防防災センター
講 師：熊本市国際交流振興事業団 事務局長 八木 浩光 氏
NGO ダイバーシティとやま 代表理事 宮田 妙子 氏
参加者数：42名（富山県17名、石川県8名、福井県17名）

オ 富山県総合防災訓練への参加

富山県総合防災訓練において「災害多言語支援センター」等の運営訓練を実施した。

時 期：9月2日（日）
会 場：氷見市働く婦人の家
講 師：NPO 法人多文化共生リソースセンター東海 代表理事 土井 佳彦 氏
参加者数：25名（ボランティア15名、留学生・研修員10名）

（6）アセアン講座

著しい経済成長を遂げるアセアン諸国の文化や生活習慣をはじめ、各国の魅力を紹介した。平成30年度は、第3回としてベトナムを取り上げた。

時 期：10月14日（日）
場 所：（公財）とやま国際センター研修室A
内 容：「結婚からみえる現代ベトナム社会」
講 師：神田外語大学アジア言語学科ベトナム語専攻教授 岩井 美佐紀 氏
参加者数：16名

（7）外国人住民の地域社会参加促進支援事業

多様な文化や習慣を背景に持つ外国人を地域社会に受け入れ、日本人住民とともにその能力を活かして活躍してもらうことは、地域活性化の観点から重要であることから、地域社会と外国人住民との橋渡し役となる知識、経験や人脈を備えた外国人キーパーソンを育成するため、3箇所の地域においてセミナーを開催した。

ブラジル編、ベトナム編、パキスタン編、各々1箇所の地域において、3回ずつセミナーを開催。

参加者数 131名（外国人54、日本人77）

新（8）外国人のための防災講習会

万一の災害時に、県内在住の外国人が迅速かつ適切に対応できるよう、外国人を対象とした同時通訳による防災に関する講習会を実施した。

時 期：平成30年10月7日（日）
会 場：富山国際会議場、四季防災館（地震や暴風雨等の災害体験）
内 容：講演「かけがえのない命を守るために」
認定NPO法人レスキューストックヤード 代表理事 栗田 暢之 氏
災害体験（地震体験、暴風雨体験）

参加者：24名（ベトナム7名、中国5名、ブラジル3名、ロシア2名、タイ2名、ミャンマー2名、インド1名、インドネシア1名、フィリピン1名）

通訳者：8名（英語2名、中国語2名、ポルトガル語2名、ベトナム語2名）

4 国際理解・研修事業

(計画額 4,355千円 実績額 1,942千円)

(1) 語学講座の開催

講座名	コース	期間	対象	受講者数
中国語	入門	5/14～3/11	初心者	11名
	初級	5/17～3/8	経験者(1年程度)	14名
	中級	5/15～3/5	基礎修得者	7名
韓国語	入門	5/16～3/6	初心者	36名
	初級	5/17～3/7	経験者(1年程度)	27名
	中級	5/14～3/11	基礎修得者	9名
ロシア語	入門	5/15～3/5	初心者	23名
ポルトガル語	初級	5/16～3/27	基礎修得者	10名

開催回数：各講座 35回

計 137名

会場：とやま国際センター研修室

(2) 国際理解出前講座

地域の国際交流協会や小中高校、大学などからの要望に応じて現場へ出向いて講座を開催し国際交流・国際理解・国際協力を促進した。

開催回数：56回

参加者数：延べ2,358名

講師：国際交流員、JICA職員、青年海外協力隊OB、留学生など

(3) 国際交流サロン

ア イングリッシュ・チャット

県民と県内で暮らす外国人ゲストが自国の文化や日頃感じていることなどを英語で自由に語りあった。

開催回数：24回

参加者数：延べ485名

会場：とやま国際センター談話室

イ ナマステ・インディア

インドのさまざまなことについて英語で紹介し、県民に異文化理解の場を提供した。

開催回数：15回

参加者数：延べ98名

会場：とやま国際センター談話室

(4) とやま国際塾

各国からの国際交流員、海外技術研修員、留学生との交流などを通じて、高校生の国際感覚の醸成を図るとともに、国際交流、国際協力や多文化共生に関心を高めてもらった。

時期：7月15日(日)～16日(月・祝)

参加者数：高校生33名

会場：呉羽青少年自然の家、他



(5) 国際交流ひろば

富山県国際交流員が各国の文化を紹介する「国際交流ひろば」を6回開催した。

第1回	アメリカの自然	8月25日(土)	参加者10名
第2回	ブラジルのコーヒー	9月29日(土)	参加者11名
第3回	ハンガルのカリグラフィ	10月27日(土)	参加者14名
第4回	上海観光の紹介	12月8日(土)	参加者10名
第5回	インド文化の紹介	12月22日(土)	参加者5名
第6回	ロシアのクレープ週間	3月9日(土)	参加者13名
会場：環日本海交流会館			計63名

(6) 国際理解のための教材、国旗及び民族衣装の貸出し

(貸出実績)

教材：0点(0団体)

民族衣装：66点(4団体)

国旗：98点(15団体)

5 情報サービス事業

(計画額 2,570千円 実績額 2,360千円)

(1) 情報紙の発行

ア 「What's Happening」

内 容：県内で開催される各種国際交流イベントや国際交流事業等を紹介した。

発行言語：英語、中国語、韓国語、ロシア語、ポルトガル語、日本語

発行部数：隔月 2,100部

イ 「TIC NEWS」

内 容：県内の国際交流・国際協力に関する情報、国際流団体の活動、海外からのレポート、とやま国際センターの事業等を報告した。

発行部数：年4回 各2,000部

(2) 多言語メールマガジン情報提供

内 容：外国人住民などに幅広く国際交流事業、イベント情報、生活情報、防災情報等を提供する多言語メールマガジンを配信した。

対応言語：英語、中国語、韓国語、ロシア語、ポルトガル語、日本語

配信回数：12回(4月～3月)

登録者数：207名(平成31年3月末)

(3) 国際交流人材バンク

ア 国際交流人材の登録と紹介

(紹介実績)

区 分	件数	内 訳 (人)	
通 訳 者	24件	英語(4) 中国語(8) ポルトガル語(3) タイ語(3) スペイン語(3) 等	計：39名
翻 訳 者	15件	英語(8) 中国語(2) ポルトガル語(2) 台湾語(2) タイ語(1) 等	計：15名
ホストファミリー	2件		計：2名
日本語指導者	0件		計：0名
海外事情紹介者	1件		計：1名

計42件

イ 通訳者の資質向上のためのセミナー開催

医療通訳をテーマに、国際交流人材バンク通訳・翻訳登録者を主な対象にしたセミナーを開催した。

時 期：11月17日(土)

会 場：環日本海交流会館

内 容：「日本人が間違いやすい医療英語表現」

講 師：医療英語講師・医療通訳 小松真奈美氏

受講者数：16名



(4) 広報PR事業

財団の事業について広くPRするため、事業案内リーフレット(日本語及び英語)を更新した。

日本語2,000部、英語1,000部

6 環日本海交流会館管理運営事業

(計画額 11,456千円 実績額 10,128千円)

(1) 施設管理運営費

県民と外国人の交流の場、国際交流団体やボランティアの自主的な活動の場、留学生や研修生等の活動の場として運営を行った。国際交流・国際協力に関する図書などの情報媒体を活用し、富山県をはじめ諸外国の情報提供を行った。

・総利用者数 27,181名

一般利用者数

区 分	午 前	午 後	夜 間	合 計
人 数	8,957	4,739	2,067	15,763

会議室利用者数

1,322件 11,418名 (うち、大会議室利用 195件 4,941名)

図書、DVD等の利用件数

区 分	図 書	DVD	CD
件 数	852	171	30

7 富山県大連事務所運営事業

(計画額 31,604千円 実績額 27,355千円)

(1) 経済交流の推進

ア 訪問・来訪等による情報収集等 延265件

- ・来所… 90件 (日系の企業等 45件、中国企業等 45件)
- ・訪問… 175件 (日系の企業等 54件、中国企業等 121件)

イ 各種ミッション等に対する協力・支援

- ・遼寧省日中商談会への支援
- ・地方銀行合同商談会参加の支店長団への支援
- ・県農林水産部中国市場現地調査への支援
- ・ものづくり総合見本市出展勧誘への支援

ウ 各種商談会、セミナー等の調査・視察

- ・大連地銀合同商談会、日中地域間交流推進セミナー、中国(吉林)東北アジア中医薬及び康養産業博覧会、中日観光大連ハイレベルフォーラム・北前船寄港地フォーラム大連大会、中国国際ソフトウェア及び情報サービス交易会、京津冀国際投資貿易商談会、中国温泉旅游イベント、盤錦市政府、ほか

エ 観光客の誘致

- ・中国の旅行会社等との面談、情報収集、PR等
- ・大連便インバウンド促進事業に対する支援
- ・富山ー大連便就航20周年記念 富山PRファムツアーへの支援
- ・大連における富山県観光プロモーションへの支援
- ・中部各県の在中国自治体事務所合同による北京国際旅游博覧会への参加、観光PR活動
- ・「大連日本商品展覧会」、「日本商品大連地区巡回展」、「大連海外旅行(日本)商談会」、「第10回APEC中小企業技術交流・展覧会」、「天皇誕生日祝賀レセプション(北京、瀋陽、大連)」等での観光PR活動

オ その他

- ・大連富山企業会の開催
(10月23日、12月7日、3月6日)
セミナー、企業視察、意見交換会等の開催
- ・県内企業の中国への新規輸出調査に係る支援
- ・富山ー大連便の利用促進についての連絡調整、増便交渉等に係る支援
- ・日本投資合作説明会(日本貿易振興機構大連事務所主催)への協力
- ・大連産業訪問団の富山県訪問に対する支援

(2) 各種交流事業への支援

ア 学術研究交流団等の来訪時の研修・説明等への協力

- ・県内高等教育機関在籍学生の企業実務研修事業への支援
- ・遼寧省との揮発性有機化合物合同調査事業への支援
- ・大連日本人学校小学生6年生の総合学習に対する支援

イ 要人等の来訪時の対応

- ・現地進出企業代表取締役等の来連対応

ウ 友好交流事業への協力

- ・日中平和友好条約締結40周年記念・富山県友好代表団に対する支援

(3) 富山ファン倶楽部の活動

ア 総会の開催（8月7日 瀋陽、 8月5日 大連）

イ 大連富山企業会と富山ファン倶楽部会員との交流会の開催（12月7日 大連）

ウ 会員への富山県情報の提供

エ 会員名簿の更新、新規会員の加入促進（会員数 395 名（3月末時点））



Ⅱ 日本海学推進事業

(計画額 7,499千円 実績額 7,280千円)

1 日本海学講座

中国の地域政策の展開と「一带一路」	(公財)環日本海経済研究所 研究主任 穆 堯茅	7月7日(土)	参加者 71名
立山の閻魔と地獄	明治大学 兼任講師 田村 正彦	9月1日(土)	104名
とやま方言のしくみと歴史	広島大学大学院教育学研究科 准教授 小西 いずみ	11月24日(土)	105名
知られざる立山の雪の世界 -雪の壁から氷河まで-	富山県立山カルデラ砂防博物館 学芸課長 飯田 肇	1月12日(土)	92名

2 日本海学シンポジウム

時 期：2月11日(祝・月)

会 場：北日本新聞ホール

参加者数：150名

テ ー マ：

「美しい富山湾を考えるー景観と暮らしー」

基調講演：西山 徳明

(北海道大学観光学高等研究センターセンター長)



3 大学講座等推進事業

	内 容	受講者数
富山大学	総合科目特殊講義「日本海学」に初鹿宏壮氏(富山県環境科学センター副主幹研究員)ほか1名を派遣	約110名
富山国際大学	「環境デザイン特別講義」に田子泰彦氏(富山県農林水産総合技術センター水産研究所所長)ほか2名を派遣	約40名
富山県立大学	「環境論Ⅰ」に山崎裕治氏(富山大学大学院理工学研究部理学領域准教授)を派遣	約250名
	「富山と日本海」に大田希生氏(水中カメラマン)ほか1名を派遣	約60名

4 日本海学研究グループ支援事業

助成実績 応募8件、助成5件、助成総額1,600,000円

平成29年度助成分成果発表会(7グループ・個人)

時 期：6月9日(土)

会 場：県民会館704号室

参加者：53名

5 環日本海学術ネットワーク特定テーマ研究支援事業

シンポジウム「北東アジアの環境問題ーESG・SDGsの時代に問うー」

期 日：11月9日(金)

場 所：ファーストバンクキラリホール

参加者：一般県民、研究機関研究者約50名

6 富山湾の魅力体験親子教室

開催日：8月4日(土)、8月5日(日)

場 所：富山高等専門学校臨海実習場、富山湾

参加者：4日 32名(子ども16名、保護者16名)

5日 36名(子ども19名、保護者17名)

Ⅲ 旅券関係事業

(計画額 43,290千円 実績額 40,787千円)

旅券の発給申請の受理及び交付事務の補助業務、旅券発給等に係る定期報告、統計資料の作成業務など旅券に関する業務を富山県旅券センター及び高岡支所で行った。

(旅券発行状況)

区 分	平成 30 年度件数	平成 29 年度件数	対比(%)
新規発給	26,301	24,353	108.0%
記載事項変更旅券	540	510	105.9%
渡航先追加	0	0	—
査証欄増補	62	87	71.3%